

教科(科目)	理科	総時数	140時間	学年(コース)	1学年
使用教科書	啓林館『未来へ広がるサイエンス 1』				
副教材等	浜島書店『最新 理科便覧 新潟県版』 文理『中学必修テキスト理科』 新学社『学習の達成』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

<p><b>グラデュエーション・ポリシー</b></p>	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p>	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

### 2 学習目標

<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
---

### 3 指導の重点

<p>① 身近な植物や物質、現象に興味関心を持って接するようにする。</p> <p>② 不思議に思ったことや分からないところを率先して調べようとする心を養う。</p>
---

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察、実験を行い、基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。</p>	<p>自然の事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。</p>	<p>自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとしている。</p>

## 5 評価方法

評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。			

## 6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	自然の中にあふれる生命	身のまわりの生物の観察 生物のなかま分けのしかた	・簡単な野外活動をとおして、多くの生物がさまざまな場所で生活していることを知る。 ・ルーペや顕微鏡等の基本操作を身に付ける。 ・花の基本的なつくりの特徴を調べ、花のはたらきを理解する。	6	観察記録 課題
	[生命] いろいろな生物とその	1章 植物の特徴と分類	・根、茎、葉の観察から、基本的なつくりの特徴を調べる。 ・植物の体の特徴に基づいて分類する。	9	実験レポート 観察記録 課題
5	共通点	2章 動物の特徴と分類	・動物の体のつくりと生活について理解する。 ・セキツイ動物を、さまざまな観点から分類する。 ・無セキツイ動物について理解する。	12	実験レポート 観察記録 課題
6 7	[地球] 活きている地球	1章 身近な大地	・大地の変化がどのようなことからわかるか考える。 ・地域の大地がどのようなになっているか調べる。	6	観察記録 課題
		2章 ゆれる大地	・地震の起こり方とゆれの大きさ、伝わり方の規則性を見いだす。 ・大地の変動を地球内部のはたらきと関連付けて理解する。	12	実験レポート 観察記録 課題
		3章 火をふく大地	・火山の形や噴火の様子、マグマのねばりけの関係を知る。 ・観察から火成岩の特徴や鉱物について理解する		
		4章 語る大地	・地層の観察記録などから、地層のでき方や広がり を理解する。 地層中の岩石や化石から、過去の事象を推定できることを知る。	4	課題
8	[物質] 身のまわりの物質	1章 いろいろな物質とその性質	・物質には固有の性質と共通の性質があることを、実験をとおして理解する。	5	実験レポート 観察記録 課題
9		2章 いろいろな気体とその性質	・性質によって物質が分類できることを理解する。 ・いろいろな気体を発生・捕集する実験を通して、気体の性質を理解する。	5	実験レポート 観察記録 課題
		3章 水溶液の性質	・水への溶解、再結晶の実験から、水溶液の性質を知る。	6	
		4章 物質のすがたとその変化	・状態変化の特徴を、実験を通じて理解する。 ・融点、沸点を利用して、物質を同定したり、分離したりする。	5	観察記録 課題

10	[エネルギー] 光・音・力 による現象	1章 光による現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>光の進み方の実験から、光の直進や反射について理解する。</li> <li>光の屈折の実験から、光が2つの物質の境界で屈折するときの規則性を見いだす。</li> <li>凸レンズの実験から、物体と像の位置や大きさの関係を見いだす。</li> </ul>	20	実験レポート 観察記録 課題
11		2章 音による現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の正体や性質を音源の振動と関連させて理解する。</li> <li>音の大きさや高さや弦の振動の幅や張りの強さとの関係を理解する。</li> </ul>	14	観察記録 課題
12		3章 力による現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体に力が働くと変形し、運動の様子が変わることを知る。</li> <li>力の表し方を知る。</li> <li>2力のつりあいの条件を見いだす。</li> </ul>	16	実験レポート 観察記録 課題
1			<ul style="list-style-type: none"> <li>圧力は力の大きさと面積に関係することを見いだす。</li> </ul>	6	実験レポート 課題
2			<ul style="list-style-type: none"> <li>ばねの伸びと力の関係を見いだす。</li> <li>水圧と浮力を理解する。</li> </ul>	8	課題
3		1年を振り返って	1年生の復習	6	課題

計 140 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに小テストを行うので、復習は各自でやっておくこと。
- ・ 週末課題や長期休業中の課題をきちんと提出すること (期限厳守)。

## 8 担当者からの一言

6年間の中等教育学校における初めての理科になります。予習・復習をきちんと行い、学習内容を確実に定着させましょう。また、勉強した内容と実生活を結び付けて考え、理科に対して深い興味をもち、楽しく学習をしましょう。

(担当：大野、古川)